



事業番号	15 05 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分） ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課
		実施期間	S24 ～	E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進				

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 ・児童生徒にとって安全・安心な教育環境の確保 ・スクールバスを計画的に配備することによる児童生徒の通学の安全・利便性の確保及び保護者等の送迎の負担軽減 など 【これまでの取組】 ・GIGAスクール構想を実現するICT機器及び通信環境の整備 ・令和元～3年度の3か年での集中的な施設計画整備 ・令和元～5年度の5か年でのトイレ環境整備（全ての学校においてトイレの洋式化率80%、多目的化率20%を達成予定） ・児童生徒の通学保障に対応するスクールバスの配備（令和2年度5台増便、計41台での運行） など				
	令和2年度点検結果 ・ 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ・経年劣化に対応した補修等による学校施設の維持保全と施設の長寿命化及び教育環境の向上が必要となっている。 ・特別支援学校整備基本方針に沿って必要性の高い学校から順次抜本的な整備を実施する必要がある。特に老朽化の進む松本養護学校及び若槻養護学校においては早急な対応が必要である。 ・スクールバス利用希望に対応できる体制整備をする必要がある。 </td> <td> ・老朽化している施設の修繕及び改修のほか、トイレの洋式化及び多目的化等、質的な学習環境の改善にも引き続き積極的に取り組んでいく。 ・特別支援学校整備基本方針及び松本養護学校・若槻養護学校の整備基本方針に基づき両校の整備基本計画の策定を進める。 ・スクールバス利用者を把握し適切に増車等の対応をするとともに、安全な運行のため計画的にバスの更新を進める。 </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	・経年劣化に対応した補修等による学校施設の維持保全と施設の長寿命化及び教育環境の向上が必要となっている。 ・特別支援学校整備基本方針に沿って必要性の高い学校から順次抜本的な整備を実施する必要がある。特に老朽化の進む松本養護学校及び若槻養護学校においては早急な対応が必要である。 ・スクールバス利用希望に対応できる体制整備をする必要がある。
課 題	今後の方向性				
・経年劣化に対応した補修等による学校施設の維持保全と施設の長寿命化及び教育環境の向上が必要となっている。 ・特別支援学校整備基本方針に沿って必要性の高い学校から順次抜本的な整備を実施する必要がある。特に老朽化の進む松本養護学校及び若槻養護学校においては早急な対応が必要である。 ・スクールバス利用希望に対応できる体制整備をする必要がある。	・老朽化している施設の修繕及び改修のほか、トイレの洋式化及び多目的化等、質的な学習環境の改善にも引き続き積極的に取り組んでいく。 ・特別支援学校整備基本方針及び松本養護学校・若槻養護学校の整備基本方針に基づき両校の整備基本計画の策定を進める。 ・スクールバス利用者を把握し適切に増車等の対応をするとともに、安全な運行のため計画的にバスの更新を進める。				

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・ 主な取組(予定)	✓ 児童生徒の特性に合わせた学びを推進するICT環境の整備 ・タブレット端末を活用した遠隔授業の推進 ・GIGAスクールサポーター派遣による教員のICTスキル向上	 <p>トイレの洋式化</p>  <p>ジャンボタクシーを活用したスクールバスの運行</p>
	✓ 老朽化した学校施設を計画的に修繕 ・学校生活維持に必要な不可欠な修繕・改修を3ヵ年（R元～R3）で計画的に実施 ・小諸養護学校及び稲荷山養護学校において、厨房拡張工事を実施	
	✓ トイレを洋式化、多目的化へ整備 ・洋式化率80%以上、多目的化率20%以上の達成を目指す。（R元～R5） ・令和3年度の整備予定15箇所（洋式化9箇所、多目的化6箇所）、目標達成10/18校	
	✓ 安心・安全な通学保障のためのスクールバスの増便 ・スクールバス利用希望者数の増に対応するための増車（1台） ・感染症対策として、重症化リスクの高い児童生徒を対象にジャンボタクシー等を利用した増便	
	✓ コロナ禍における安心・安全な教育環境の確保 ・感染拡大防止に必要なマスクや消毒液等の保健衛生用品を整備	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)				
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	事業コスト	前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度
1	R1～R3年度における緊急的な整備が必要な箇所の対応率	-	43.6%	↑	57.7%		↑	799,987	784,209	要求 1,494,855 予算案 -
2	トイレの洋式化率	77.2%	78.6%	↑	82.4%		↑	64,815	379,219	
3	自力通学ができず、かつスクールバス利用を希望する児童生徒の乗車率	96.2%	97.5%	↑	100%		↑	2,144,144	1,191,071	要求 1,494,855 予算案 -
4								583,025	521,835	要求 1,048,364 予算案 -
5								2,044,940		
								3.13	3.13	3.13
成果指標設定理由	1 集中的な施設整備を3か年で実施 2 集中的なトイレ整備を5か年で実施 3 スクールバス乗車基準									

事業名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課
-----	---------------	----	----------	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
1	給与費等	42,471 千円	44,238 千円	要求 166,447 予算案 — 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	スクール・サポート・スタッフ配置事業	直接	公立特別支援学校19校に教員の業務をサポートするスクール・サポート・スタッフを配置（各校1人、計19人）し、教員が児童生徒の学びの保障に注力できる体制を整備
2	学習指導補助員追加配置事業	直接	県立特別支援学校に学習指導補助員を配置（各校1～2人、計31人）し、感染症対策を講じながら児童生徒一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな指導等を行うための教育環境を確保
3	盲・ろう学校非常勤講師等配置事業	直接	盲学校に非常勤講師2人を任用し、教育カリキュラムを充実
4	視覚・聴覚障がい児早期教育支援事業	直接	早期支援指導員及び早期教育相談員を4人ずつ配置
5	研修等代替非常勤講師配置事業	直接	研修代替非常勤職員を2人配置
6	特別支援学校妊娠教職員母性保護事業	直接	体育代替非常勤講師及び養護教諭非常勤講師、学級担任補助員、寄宿舎指導員宿直代替職員の配置

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
2	特別支援教育推進指導事業費	150,368 千円	134,035 千円	要求 310,425 予算案 — 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	学校管理運営事業	直接	タブレット端末等のICT機器及び通信環境の整備によるICTを活用した効果的な教育の推進

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
3	就学奨励事業費	324,389 千円	318,608 千円	要求 366,310 予算案 — 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	特別支援教就学奨励費事業	直接	特別支援学校に通う児童生徒の保護者等に対する就学奨励費の支給（国庫1/2）

事業名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課
-----	---------------	----	----------	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
4	特別支援学校整備事業費	170,713 千円	168,513 千円	要求 348,863 予算案 — 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	特別支援学校施設計画整備事業	直接	17校、26箇所において施設整備を実施 小諸養護学校と稲荷山養護学校において、厨房拡張工事及び調理器具の更新を実施 体育館照明のLED化推進 松養・若槻養護学校学習空間デザインの具現化(外部専門家の活用)	
2	特別支援学校トイレ環境整備事業	直接	4校、15箇所においてトイレの整備を実施(洋式化9箇所、多目的化6箇所)	

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
5	特別支援学校運営費	112,046 千円	118,815 千円	要求 302,810 予算案 — 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	学校評議員設置事業	直接	地域住民や保護者などを学校評議員として委嘱し、学校運営や学校自己評価についての助言を得る。	
2	特別支援学校感染症対策事業	直接	感染拡大防止に必要なとなるマスクや消毒液等の保健衛生用品を整備し、安心・安全な教育環境を確保	
3	通学バス・公用車整備事業	直接	スクールバス2台を更新 スクールバス1台をリース 感染症重症化リスクの高い児童生徒等を対象とした、ジャンボタクシー等の利用によるスクールバスの増便	
4	特別支援学校学習環境整備基金事業	直接	基金運用益の利子を受け入れ、基金に積み立て、運用益で図書を購入 特別支援学校児童生徒安全給付・学習環境整備基金の設立	